



悠然と立つ「いぼ地蔵」

野鳥の声を聞きながら平方小東側の中堀川支流の埋め立てられた谷跡を眺めました。ここでは江戸時代から終戦後しばらく、つみ田(稲作)が行われていたそうです。腰までつかる湿地で、雑草取りや稲刈りは特に大変だったと農家の方に聞きました。

住宅や畑の間を抜け江戸時代から続くお稲荷さんの社を

拝観し、初午の行事に話題が弾みました。この行事では、自宅や近隣のお稲荷さんに赤飯と「しもつかれ」(北関東の郷土料理)をお供えしたとのことです。

次に旧家の裏庭にある江戸時代中期の庚申塔2基を見せられないところ。普段では見られないところ。参加者からは「子どもの頃に遊んでいたが、気付かなかった」との声も聞かれました。

続いて、スーパの駐車場脇にあるお地蔵様を見上げました。通称、いぼ地蔵。道路拡張で現在の位置に少し移動したとのこと。茶の矢島園脇を南下し、平方ゴルフガーデン近くの万治二年銘庚申塔(市指定文化財)を見ました。林の中にあり気付きにくいので、「ここでも「長年住んでいたが知らなかった」との声が聞かれました。

歩いてふるさとの文化財発見

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより



平方地区
こいけ てるお
小池 敏朗 さん

再び南下し、北向きの庚申様(通称、山王様)を見た後、特別養護老人ホームの脇にある庚申塔を見ました。昨年までは、雑木林の中で見にくかったのですが、保育園の広場ができ、現在はしっかりと保護・保存されています。その南側には浅間塚があります。7月1日は初山ですが、富士山信仰の浅間塚も少なくなってきたそうです。特別養護老人ホームの裏の小道を通り、上野集落センターで休息。軽く汗を流した2時間のウォーキングでした。

住み慣れた地域の中に隠れた小さな文化遺産がいくつもありました。次世代のためにも、今後どう保護・保存・活用していくかが検討課題と痛感しました。

市民の情報交流スポット



おいでください

- 直傳靈氣ワンコイン(500円)体験会 9月9日(火)9:30~16:00、上新梨子集会所(大字上) 定員20人(先着順) 費用500円 申込9月8日(月)までに電話で 大野町090-5495-3572 **ひと言!** 日本古来の手当ヒーリング。腰痛、肩こりでお困りの方。
- 敬老上尾旅クラブカラオケ舞踊発表会 9月13日(土)9:30~、上尾市文化センター 申込 神田 0773-0641 **ひと言!** チャリティーバザー開催。最後に抽選会があります。
- 第12回領工会まつり 9月14日(日)10:00~15:00、領家工業団地(領家1152-10、アイコーポレーション敷地内) 申込 藤波 080-1144-8670(17:00まで) **ひと言!** 高所作業車体験・バルーナ即売会・各種イベント多数。

- 泉心流詩吟 9月15日(祝)13:30~15:00、上尾市文化センター 申込 石川 0725-8748 **ひと言!** 大画面映像で視覚から歴史を吟じる。黒田官兵衛など。
- 安心できる老後を迎えるためには! 9月20日(土)9:30~11:30、上尾市文化センター204(第4集会室) 定員20人 費用400円 申込9月15日(祝)までに電話で 古屋 080-3524-9138 **ひと言!** 貯蓄から運用、そして今後の相場環境の見直しを学ぶ。
- 歌と朗読の会 矢内久子の世界 Vol.2 9月23日(祝)14:00~16:30、響の森桶川市民ホール小ホール 定員150人 費用1,000円 申込 矢内 0771-7136 **ひと言!** 市内在住の小説家矢内久子の世界。童謡からオペラまで。
- 日本舞踊体験教室 10月4日からの毎週(土)13:30~15:00(全9回)、谷津公民館(谷津2丁目) 定員20人 費用1回500円 申込9月10日(火)までに電話で 清水 0774-5416(9:00~11:00) **ひと言!** 「わらべ唄」のせて日本舞踊を踊ってみませんか?
- 第27回上尾マジッククラブ発表会 10月5日(日)13:00~15:00、上尾市文化センター中ホール 申込 野原 0781-1197(18:00~

- 21:00) **ひと言!** 不思議で楽しいマジックをご覧ください。お気軽にどうぞ。
- 混声合唱団コーロ・コルディアール定演 10月5日(日)14:00~(開場13:30)、彩の国さいたま芸術劇場音楽ホール(さいたま市) 費用1,000円 申込 齋藤 0726-2068 **ひと言!** 創立30周年、高田三郎作曲「内なる遠さ」などを演奏。
- 聖学院大学創立記念音楽会 10月25日(土)18:00~20:00、聖学院大学チャペル 定員300人 申込10月3日(金)までに往復はがきで 聖学院キリスト教センター 0725-5495 **ひと言!** 応募方法は聖学院大学ホームページをご覧ください。

いきいきサークル 会員・団員募集

- ギターアンサンブル「フレッツ」 毎週(土)18:30~21:30、大石公民館 月額3,000円(別途楽譜代) 佐藤 0775-4547 **ひと言!** フォーク、軽音楽、歌謡曲など、初級講座あり。
- ひらひらの会(平家物語を読む会) 毎月第2(金)10:00~12:00、平方公民館 月額1,300円 佐藤 0774-6127(20:00~22:00) **ひと言!** 古典から現代に立ち現れる人々の暮らしが見えてくる。



昭和基地滞在中の中山さん

日本から約14,000キロも離れた南極圏内にある昭和基地。中山宣彦さんは2012年11月からことしの3月まで、第54次日本南極地域観測隊越冬隊員としてこの地に滞在しました。大工職としてミサワホーム(株)に勤務する中山さんは、昭和基地で「自然エネルギー棟」という施設の建設・完成に尽力しました。また研究員など他の分野の隊員も建設作業に携わるため、その指揮なども務めました。

スポットライト

～人・仲間～



なかやまのりひこ
中山 宣彦さん
(畔吉在住)

SPOT LIGHT
The life of a great person

極寒の地で得た感動を次の世代へ

第54次日本南極地域観測隊員として南極に滞在

寒の地で出会ったオーロラ、ペンギンやアザラシなどの珍しい動物、日本とは比べものにならない青空の色の濃さに、感動を覚えました」と話します。

滞在中の昨年10月、昭和基地と母校の大石南中学校との間で、衛星中継が行われました。現地からの南極や基地の紹介という貴重な体験に、生徒たちは大喜び。同校には中山さんのお子さんも在学していたそうです。

帰還後、中山さんは「南極クラス」という活動で全国各地の学校や企業で講演を行っています。その中で、南極へ向かう船が暴風圏を抜けた時に偶然撮影した「2012年12月12日12時12分12秒」の写真を紹介しています。「帰ってきてから見ると『その一瞬はその時しかない』ということ強く実感します。講演を聞いた子どもたちにも、一瞬一瞬を大切に感じてもらえたらと思っています」。

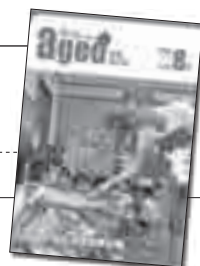
ことし11月には、瓦葺中学校で講演が予定されています。夢と希望いっぱいの中山さんの講演を聞いた子どもたちの中から、未来の隊員が現れる日も、そう遠くはないかもしれません。

中山さんの南極での様子はブログ「南極アホウドリの巣づくり日記」～NDM発信～(HP<http://misawa.co-blog.jp/nankyoku54/>)で、「南極クラス」について詳しくは南極クラスホームページ(HP<http://www.eco.misawa.co.jp/antarctic-class/>)をご覧ください。



「クイズ アッピーを探そう!」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は8月号です。

⇒広報広聴課 ☎775-4918・FAX776-8873 ※内容は一部要約しています。



ランナー募集!! 上尾シティマラソン

- 上尾シティマラソン、見るのも楽しそうですね!
(40代女性)
- 退職後、上平公園でジョギングをしています。今年は久しぶりにシティマラソンに参加するつもりです。
(60代男性)

毎年8,000人以上が参加する秋の風物詩、上尾シティマラソン。箱根駅伝の前哨戦ともされる、全国規模の大会なんです。「走るのが苦手…」という人には、白熱したレースを間近で観戦するのもお勧めですよ!



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。

金婚式典・ダイヤモンド婚式典

- 私たちが金婚式に近付いていることを知り、新たな目標ができました。健康管理に徹し、式典に参加できるよう努力していきたいと思います。
(70代男性)

表紙

- 8月号の広報の表紙はいかにも夏向けの爽やかな感じが良かったです。次回はどうか楽しみにしています。
(70代男性)

撮影に協力してくれた平方幼稚園の子どもたちや、マイケル先生の笑顔が印象的な一枚となりました。これからも、皆さんが思わず手に取りたくするような素敵な表紙を作っていきます!

